

ハッカソン ～店舗業務を効率化しよう～

2025/09/04

Amazon Web Services Japan

Solutions Architect

濱上 和也



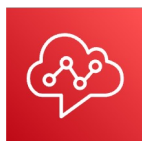
自己紹介

濱上 和也 (はまがみ かずや)

アマゾン ウェブ サービス ジャパン
ソリューションアーキテクト

小売（アパレル）のお客様を中心にご支援

好きな AWS サービス
Amazon Connect



Amazon Nova Canvas



はじめに結論

ユースケースの解像度が高ければ、実用的な AI アプリは作れます！

ワーク全体の流れ

- ユースケースの考え方/具体例の紹介、記入シート例の確認 (15 min)
 - ハンズオンで実施したユースケース例のシートを見て、AI エージェントとデータ/ツール (/人間) を連携したフロー図の書き方について理解を深めましょう
- 演習 (25 min)
 - リーダーを決めてください (AWSメンバーと一緒に進めてください)
 - シートを記入する人を決めてください
 - ユースケースを話し合い、1つ決めてください
 - 全て空欄のシートを使って、AI エージェントとデータ/ツール (/人間) を連携したフロー図を書いてみましょう
 - ハンズオンで作ったGenUも使って要件をブラッシュアップし、新たな気づきを得ましょう
- 開発 + 休憩 (15 min)
 - Amazon Q Developerも使って、上記要件に基づいて画面プロトを作成してください
 - グループ発表者も決めてください
- 全体発表 (20min)

ワーク全体の流れ

- ユースケースの考え方/具体例の紹介、記入シート例の確認 (15 min)
 - ハンズオンで実施したユースケース例のシートを見て、AI エージェントとデータ/ツール (/人間) を連携したフロー図の書き方について理解を深めましょう
- 演習 (25 min)
 - リーダーを決めてください (AWSメンバーと一緒に進めてください)
 - シートを記入する人を決めてください
 - ユースケースを話し合い、1つ決めてください
 - 全て空欄のシートを使って、AI エージェントとデータ/ツール (/人間) を連携したフロー図を書いてみましょう
 - ハンズオンで作ったGenUも使って要件をブラッシュアップし、新たな気づきを得ましょう
- 開発 + 休憩 (15 min)
 - Amazon Q Developerも使って、上記要件に基づいて画面プロトを作成してください
 - グループ発表者も決めてください
- 全体発表 (20min)

テーマ：店舗業務

現状の課題を仮説（妄想）しながら
生成 AI と連携するツールやデータを描くことで
生成 AI 活用アイデアをお持ち帰りいただく

進め方の確認

- ファシリテーターを決める
- 記入する人を決める
- アイデアを議論、1つ決定
- シートに従い具体化
- GenUも使ってブラッシュアップ

記入シート回答例

現場の課題(Why)： 目黒店の店長Aさん。発注するまでの情報整理に多くの時間を要している。「発注のタイミングだけど、在庫不足商品を調べなきゃ、近隣店舗の売上傾向も見ながら人気商品も在庫補充しなきゃ、」		データ： 在庫管理DB、商品DB、売上分析システム、発注システム	ツール： SQL/MCP、Web API、slack
AI エージェントの利用条件： ・ [When] 毎週月曜日に ・ [Who] 目黒店の店長Aさんが ・ [Where] 店舗の裏方のデスクにて ・ [What] 在庫不足の商品を抽出し、近隣店舗の売上分析を行い、発注処理を行う ・ [How] ・ タスクの開始：店長はアプリを立ち上げ「現在の商品在庫状況の確認と、近隣店舗の売上分析を行って、発注業務を行って」と依頼する。 ・ 判断を仰ぐ：エージェントは発注すべき商品と数量、判断した根拠となる情報をまとめて、店長に確認する。 ・ タスクの終了：店長に Slack で発注結果を通知する。		AI エージェント名： 店舗運営スーパーバイザー 	
見どころ / こたわりポイント： 売れてない商品の在庫を減らすために割引率の提案もするよ			

ユースケースの解像度をあげよう

全て AI（エージェント）に任せたいか？

全て AI エージェントに任せたいか？

こんなユースケースは、人間を関与させたくないですか？

- 営業/接客シーン（人間が対応した方が、お客様に安心感を与える）
- 本番システムへの変更シーン（責任は人間にあるため、最後の判断は必要）

絶対似合わんやろ。



お客さん、このTシャツ
絶対似合いますよ。
買って買って買って。



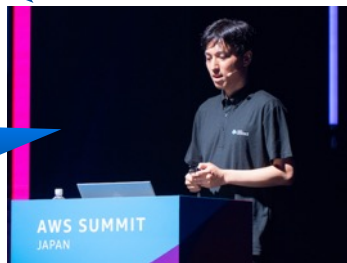
人間は、指示（プロンプト）を出したいのか？

人間は、残念ながら、怠け者。

できれば、AI から確認してきてほしいのでは？ → **判断だけ人間が関与**

・・・買う。**[2.判断]**

(AI やるなあ。。)

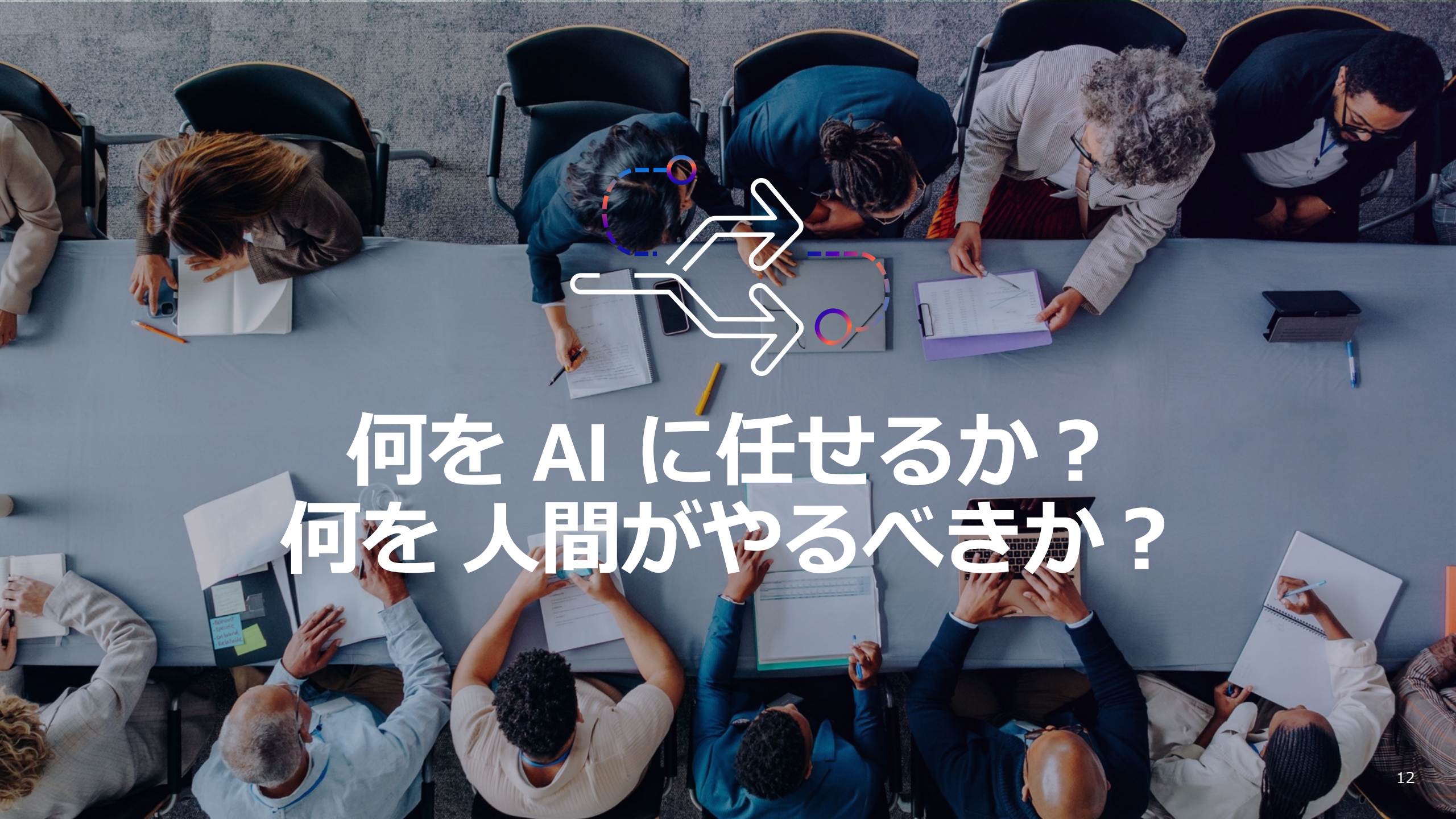


お客さん、このTシャツ絶対似合いますよ。試着したらこんな素敵になりますよ。

[1.提案]

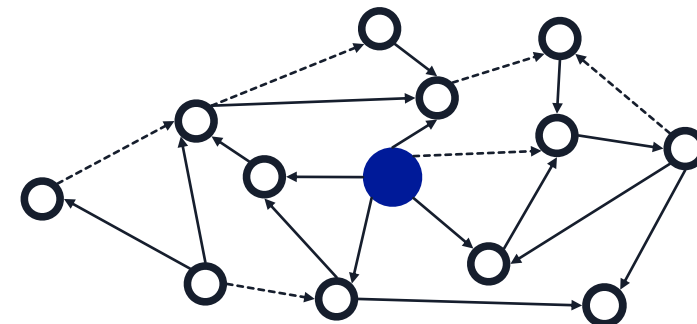
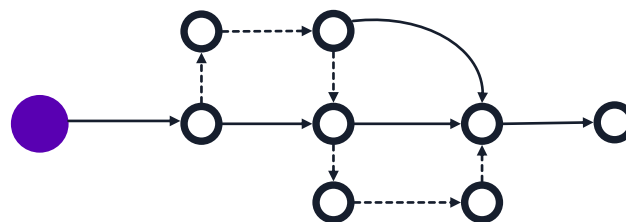


お買い上げありがとうございます！ **[3. 決済]**
明日届きます！ **[4. 出荷]**



何を AI に任せるか？
何を 人間がやるべきか？

任せる業務を見極めよう



定型 業務フロー

- | 料金の支払い
- | パスワードリセット
- | 定期注文
- | 予約変更

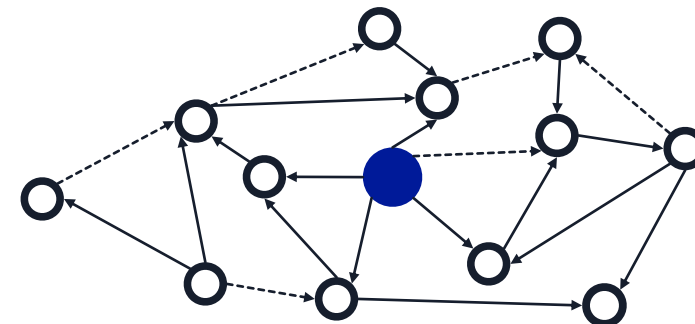
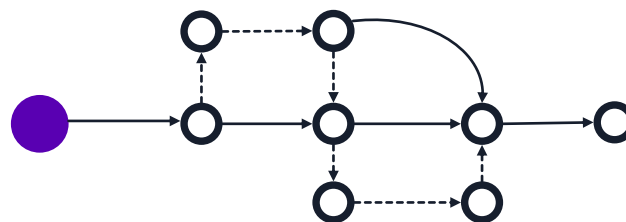
半定型 業務フロー

- | 返品・返金
- | 契約内容変更
- | 保証サービス請求
- | 必要書類提出

非定型 業務フロー

- | 障害対応
- | トラブルシューティング
- | クレーム対応
- | 最適なサービスの提案

任せる業務を見極めよう



定型 業務フロー

- | 料金の支払い
- | パスワードリセット
- | 定期注文
- | 予約変更

半定型 業務フロー

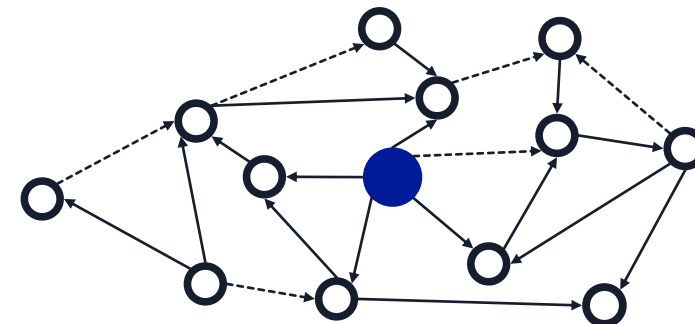
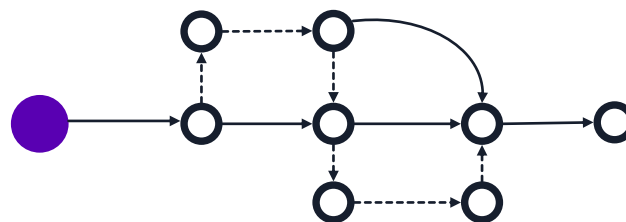
- | 返品・返金
- | 契約内容変更
- | 保証サービス請求
- | 必要書類提出

非定型 業務フロー

- | 障害対応
- | トラブルシューティング
- | クレーム対応
- | 最適なサービスの提案

AI じゃなくても
自動化できそう

任せる業務を見極めよう



定型 業務フロー

- | 料金の支払い
- | パスワードリセット
- | 定期注文
- | 予約変更

AI じゃなくても
自動化できそう

半定型 業務フロー

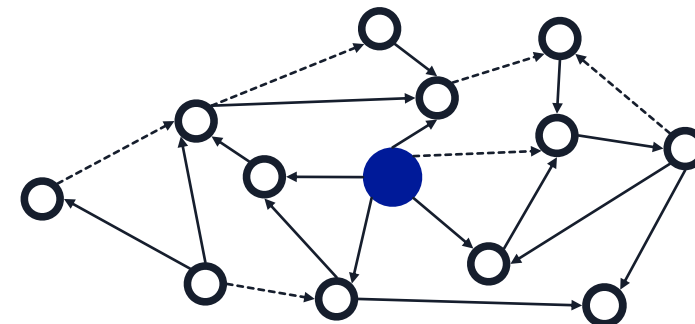
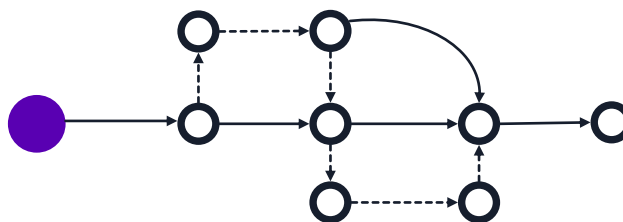
- | 返品・返金
- | 契約内容変更
- | 保証サービス請求
- | 必要書類提出

人間の判断は一部
欲しい

非定型 業務フロー

- | 障害対応
- | トラブルシューティング
- | クレーム対応
- | 最適なサービスの提案

任せる業務を見極めよう



定型 業務フロー

- | 料金の支払い
- | パスワードリセット
- | 定期注文
- | 予約変更

AI じゃなくても
自動化できそう

半定型 業務フロー

- | 返品・返金
- | 契約内容変更
- | 保証サービス請求
- | 必要書類提出

人間の判断は一部
欲しい

非定型 業務フロー

- | 障害対応
- | トラブルシューティング
- | クレーム対応
- | 最適なサービスの提案

前さばきは AI に、
後半は人間が対応

任せる業務を見極めよう

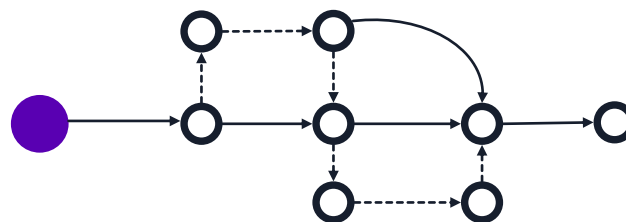
この例を1つ



定型 業務フロー

- | 料金の支払い
- | パスワードリセット
- | 定期注文
- | 予約変更

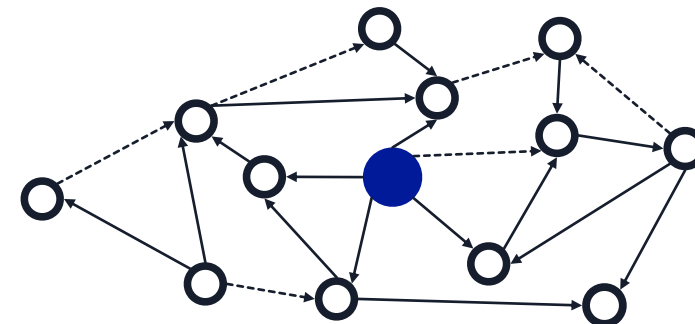
AI じゃなくても
自動化できそう



半定型 業務フロー

- | 返品・返金
- | 契約内容変更
- | 保証サービス請求
- | 必要書類提出

人間の判断は一部
欲しい



非定型 業務フロー

- | 障害対応
- | トラブルシューティング
- | クレーム対応
- | 最適なサービスの提案

前さばきは AI に、
後半は人間が対応

デモ：FAQ を定期更新する AI エージェント

- あるアパレル EC サイトに FAQ ページがある
- [AsIs] お客様からの問合せが一向に減らない背景の 1 つに FAQ ページの更新を怠っているという問題がある
- [ToBe] EC サイト運用者が本来やるべきは、問合せ内容を記録し分析し、よくある問合せは FAQ に定期的に追加すること

対応案

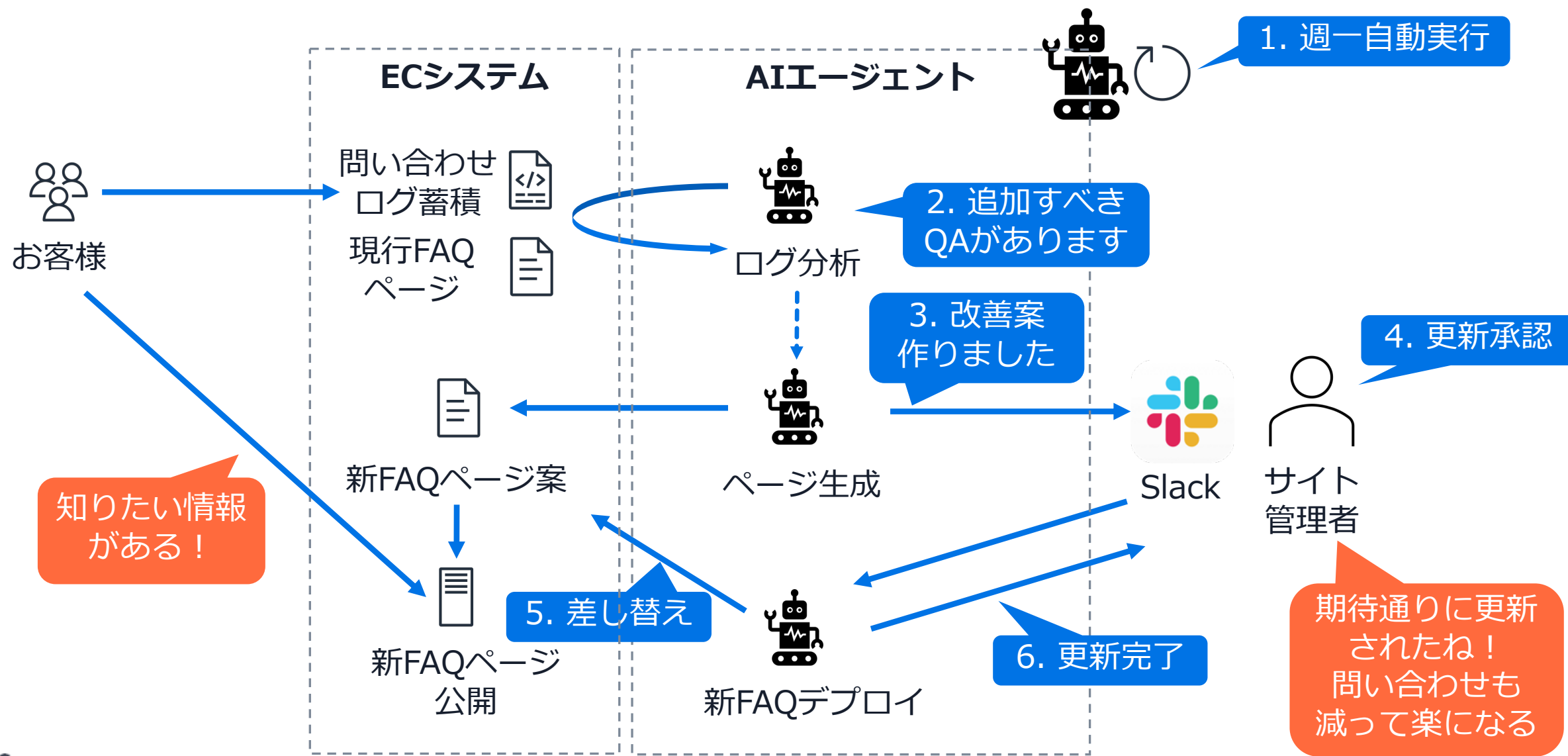
- AI エージェントが、定期的に問合せログデータを分析して、FAQ ページに追加すべき内容を抽出して、
人間に確認をとって OK もらったら、FAQ を更新する
- AI エージェントは、人間に Slack で FAQ 更新の承認可否を求める
- 人間は、Slack で FAQ 更新を承認 or 拒否する



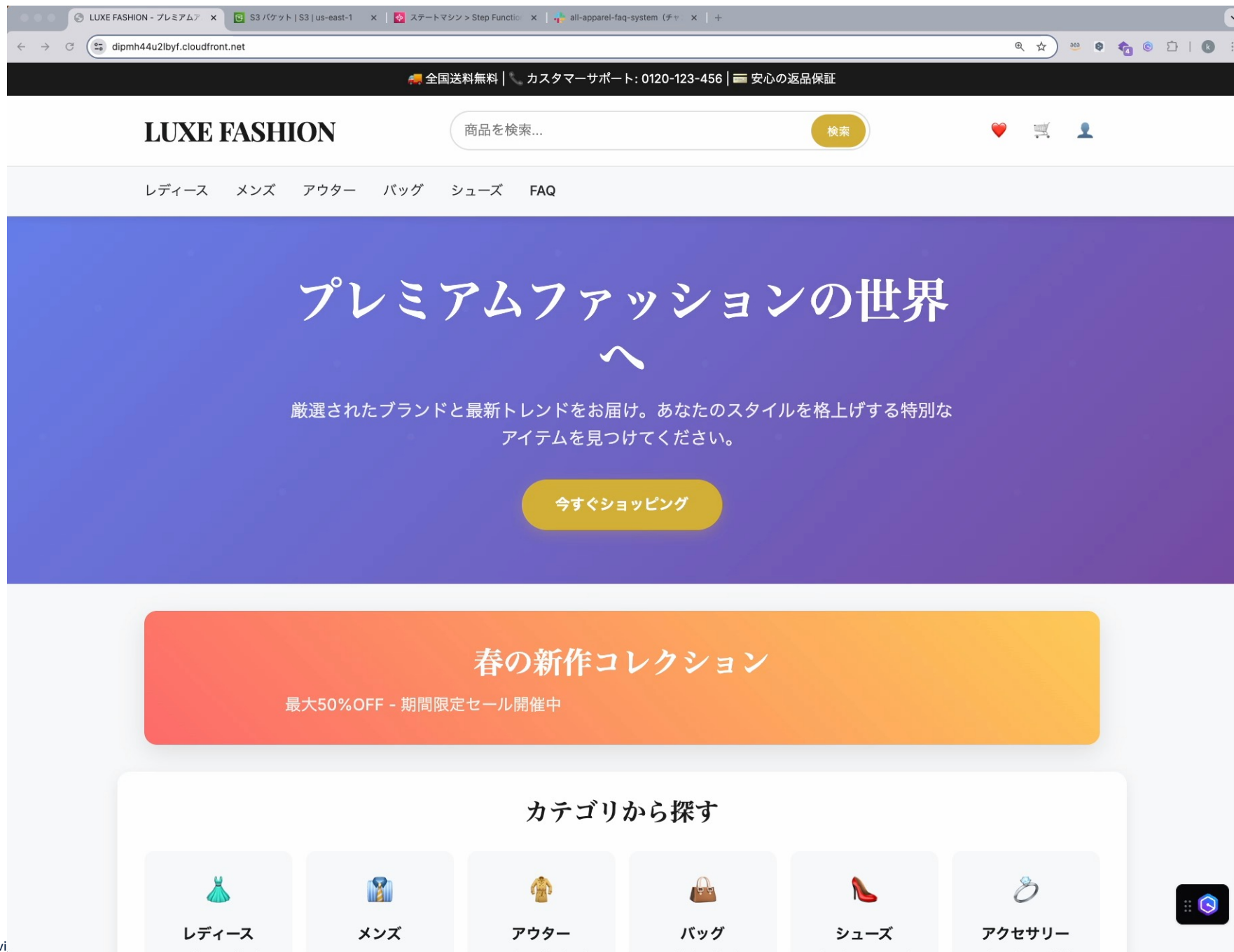
人間様、判断お願いします



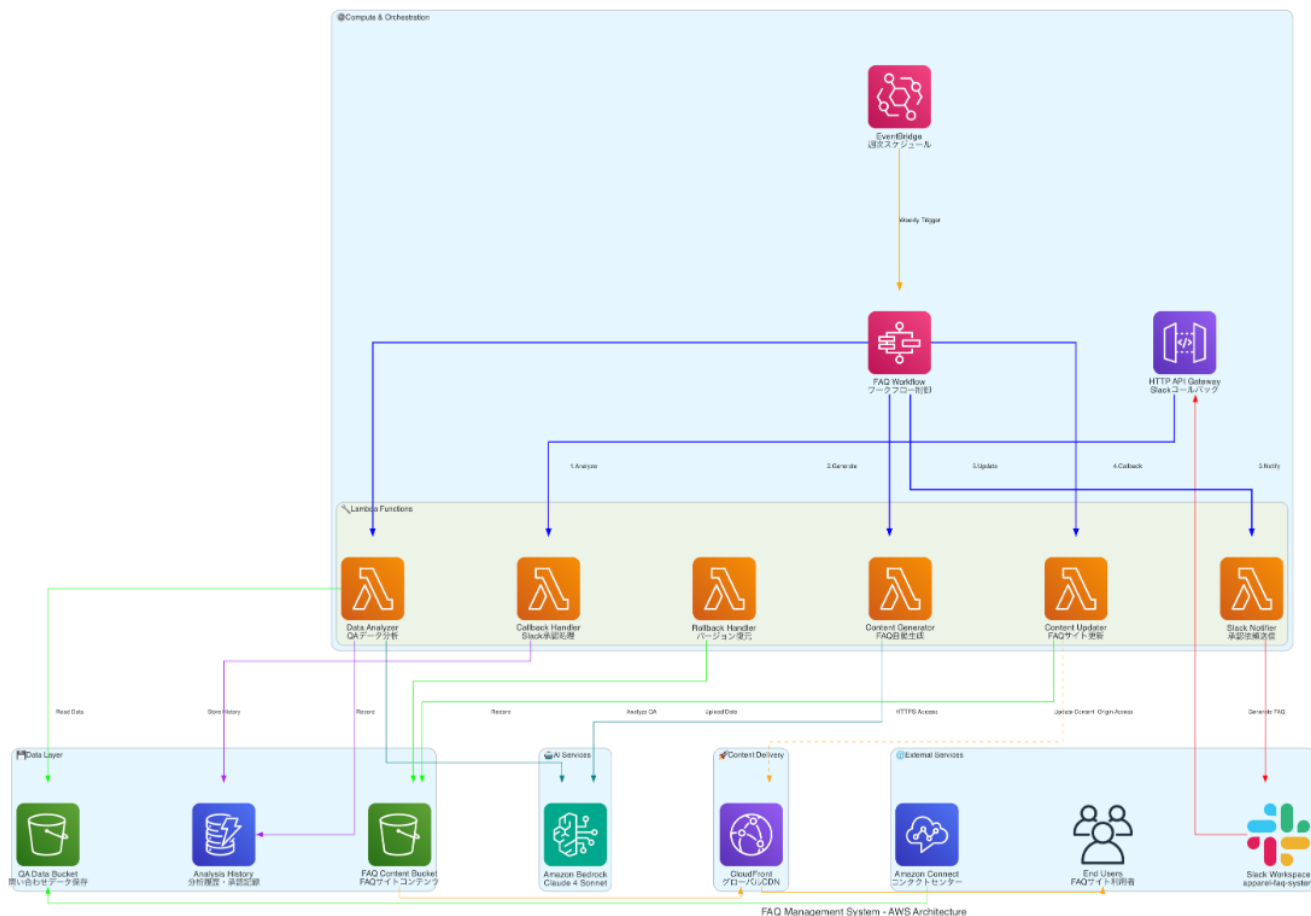
このユースケースの解像度を上げると



デモ



AWSアーキテクチャにすると



ここでキーとなるAWSサービス



AWS Step Functions

- FAQ更新ワークフロー
- Slackを通じて承認確認



Amazon Bedrock

- 問い合わせデータ分析
- 新しいFAQページ案を生成



Amazon Q Developer

- 開発エージェント

ほとんど私が作ったよ

店舗業務ユースケースへの応用を考えると

- 接客マニュアルの更新
- 店舗電話の対応マニュアル更新
- AIチャットアプリ（接客、新人教育用等）のRAGデータソース更新
- 売上日報フォーマットの改善提案

まとめ

AI エージェントを活用するユースケース、適用したい業務フローについて解像度をあげましょう

AI と人間のやり取りのポイントを意識して流れを設計しよう

あとは、Amazon Q Developer (と Kiro) が何とかしてくれます



**前置きが長くなりましたが、
ユースケース議論しましょう**

テーマ：店舗業務

現状の課題を仮説（妄想）しながら
生成 AI と連携するツールやデータを描くことで
生成 AI 活用アイデアをお持ち帰りいただく

進め方の確認

- リーダーを決める
- 記入する人を決める
- アイデアを議論、1つ決定
- シートに従い具体化
- GenUも使ってブラッシュアップ

記入シート回答例

現場の課題(Why)： 目黒店の店長Aさん。発注するまでの情報整理に多くの時間を要している。「発注のタイミングだけど、在庫不足商品を調べなきゃ、近隣店舗の売上傾向も見ながら人気商品も在庫補充しなきゃ、」		データ： 在庫管理DB、商品DB、売上分析システム、発注システム	ツール： SQL/MCP、Web API、slack
AI エージェントの利用条件： • [When] 毎週月曜日に • [Who] 目黒店の店長Aさんが • [Where] 店舗の裏方のデスクにて • [What] 在庫不足の商品を抽出し、近隣店舗の売上分析を行い、発注処理を行う • [How] • タスクの開始：店長はアプリを立ち上げ「現在の商品在庫状況の確認と、近隣店舗の売上分析を行って、発注業務を行って」と依頼する。 • 判断を仰ぐ：エージェントは発注すべき商品と数量、判断した根拠となる情報をまとめて、店長に確認する。 • タスクの終了：店長に Slack で発注結果を通知する。		AI エージェント名： 店舗運営スーパーバイザー 	
見どころ / こたわりポイント： 売れてない商品の在庫を減らすために割引率の提案もするよ			

本日のワークショップでとって頂きたい行動

1. ⚡ : とりあえず決める (質よりもスピード重視)

意思決定は「とりあえず」で構いません。
「思い付き」や「苦し紛れ」大歓迎です。

2. 🛠️ : 知らない時は仮定する

十分な情報がない場合は仮定して先に進みましょう。

3. 👍 : 批判はしない

「正解」「100%」はありません。

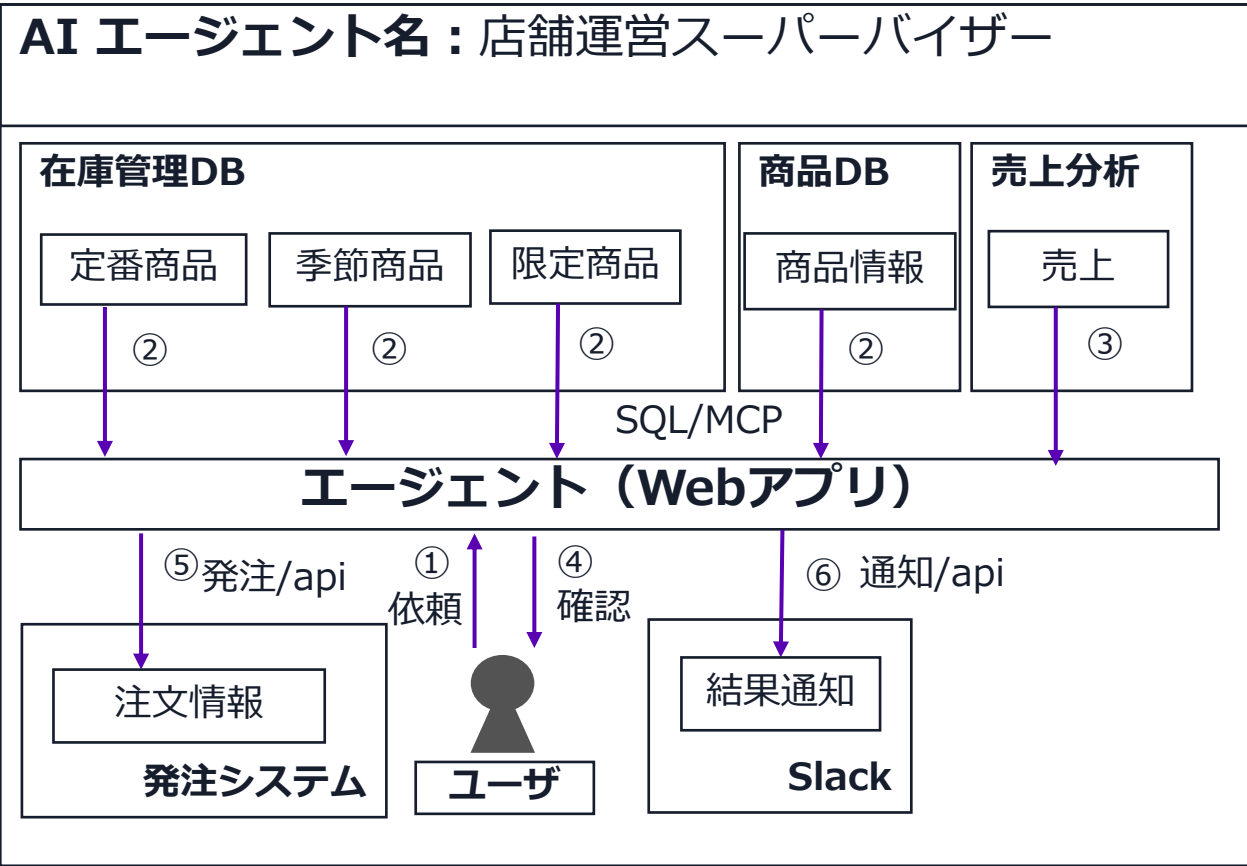
記入シート回答例

現場の課題(Why)： 目黒店の店長Aさん。発注するまでの情報整理に多くの時間を要している。「発注のタイミングだけど、在庫不足商品を調べなきゃ、近隣店舗の売上傾向も見ながら人気商品も在庫補充しなきゃ、」

データ：
在庫管理DB、商品DB、売上分析システム、発注システム

ツール：
SQL/MCP、Web API、slack

- AI エージェントの利用条件：**
- **[When]** 毎週月曜日に
 - **[Who]** 目黒店の店長Aさんが
 - **[Where]** 店舗の裏方のデスクにて
 - **[What]** 在庫不足の商品を抽出し、近隣店舗の売上分析を行い、発注処理を行う
 - **[How]**
 - タスクの開始：店長はアプリを立ち上げ「現在の商品在庫状況の確認と、近隣店舗の売上分析を行って、発注業務を行って」と依頼する。
 - 判断を仰ぐ：エージェントは発注すべき商品と数量、判断した根拠となる情報をまとめて、店長に確認する。
 - タスクの終了：店長に Slack で発注結果を通知する。



見どころ / こだわりポイント： 売れてない商品の在庫を減らすために割引率の提案もするよ

ワーク全体の流れ

- ユースケースの考え方/具体例の紹介、記入シート例の確認 (15 min)
 - ハンズオンで実施したユースケース例のシートを見て、AI エージェントとデータ/ツール (/人間) を連携したフロー図の書き方について理解を深めましょう
- 演習 (25 min)
 - リーダーを決めてください (AWSメンバーと一緒に進めてください)
 - シートを記入する人を決めてください
 - ユースケースを話し合い、1つ決めてください
 - 全て空欄のシートを使って、AI エージェントとデータ/ツール (/人間) を連携したフロー図を書いてみましょう
 - ハンズオンで作ったGenUも使って要件をブラッシュアップし、新たな気づきを得ましょう
- 開発 + 休憩 (15 min)
 - Amazon Q Developerも使って、上記要件に基づいて画面プロトを作成してください
 - グループ発表者も決めてください
- 全体発表 (20min)

タイムライン目安

橙箇所：大事なポイント

項	やること/アウトプット項目	内容/補足	時間
0	リーダーと、シート記入者の決定	- ファシリテーションはAWSメンバと一緒に - シート記入は、紙でも電子でもOK	1分
1	現場の課題	A さん(誰) が △ をする作業に N 時間かかって困っている	5分
2	AI エージェントの利用条件、ユースケース	- 利用状況の 5 W 1 H - エージェントが担当する作業範囲の開始と終了 (人間との連携ポイントもあれば)	7分
3	データ、ツール	- データ：ファイル・DB 等 - ツール：ファイルIO、SQL、Web API、SaaS 等	3分
4	AIエージェントを中心としたシステム関連図、要件定義	エージェント名 (使ってもらうためネーミング大事!) - フローや図は、GenUも触ってみましょう (時間あれば) 要件定義チャレンジ (開発演習の準備)	7分
5	見どころ、こだわりポイント	わかりやすいアピールすべき点を、一言で	2分

店舗業務に関連するユースケース例

誰が	どんな業務の課題を解決？	どのように	こだわりポイント
店長	- 売上日報の作成 - シフト作成	iPadアプリ	AIから叩き台を提案する
店舗スタッフ (バイト含む)	- 取置き等店舗電話の受付記録 - 従業員教育チャットアプリ - 在庫検品/棚卸しの記録支援 - 接客支援	スマホアプリ	- 音声入力も可能とすることで、手間が省ける - 接客にバーチャル試着でのレコメンドを提供する
エリアマネージャー (本部スタッフ)	- 売上分析 - 店舗間在庫配置/発注の最適化 - 店舗日報の効率的な読み込み	Webダッシュボード	売れてない商品の割引率を提案する
経営層	- 売上分析 - 店舗出店計画	Amazon Echo	データに基づき、経営会議をAIがファシリする

①誰が、を最初に決めましょう



店舗業務に関連するユースケース例

誰が	どんな業務の課題を解決？	どのように	こだわりポイント
店長	- 売上日報の作成 - シフト作成	iPadアプリ	AIから叩き台を提案する
店舗スタッフ (バイト含む)	- 取置き等店舗電話の受付記録 - 従業員教育チャットアプリ - 在庫検品/棚卸しの記録支援 - 接客支援	スマホアプリ	- 音声入力も可能とすることで、手間が省ける - 接客にバーチャル試着でのレコメンドを提供する
エリアマネージャー (本部スタッフ)	- 売上分析 - 店舗間在庫配置/発注の最適化 - 店舗日報の効率的な読み込み	Webダッシュボード	売れてない商品の割引率を提案する
経営層	- 売上分析 - 店舗出店計画	Amazon Echo	データに基づき、経営会議をAIがファシリする

①誰が、を最初に決めましょう ②現場の課題設定は、迷うならこの中から選択



GenU を使って解像度をあげよう

- **議事録生成** を使い、**AI エージェント利用条件 (5W1H)** を整理してみよう
- **ダイアグラム生成** を使い、 AI エージェント利用条件から**アーキテクチャ図**を作成してみよう
- **画像生成** を使い、 AI エージェント利用条件から**利用シーン**を生成してみよう
- **チャット** を使い、 AI エージェント利用条件から**要件定義**をしてみよう
- 他にも有効な使い方があれば、ぜひ試して、シェアしてください

GenU/議事録生成

※ワークショップでは多方で議論が行われているため、
音声をうまく拾えない可能性があります

The screenshot shows the GenU web interface for generating meeting transcripts. The interface includes a sidebar menu on the left, a main content area with input options, and a settings panel on the right. Eight numbered orange callouts highlight specific steps in the process:

- 1. クリック**: Points to the '議事録生成' (Generate Meeting Transcript) option in the sidebar menu.
- 2. マイク入力ON、ブラウザのマイク許可設定**: Points to the 'マイク入力' (Microphone Input) toggle switch.
- 3. 文字起こしスタート**: Points to the '録音を開始する' (Start Recording) button.
- 4. 文字起こし表示**: Points to the '文字起こし' (Transcription) section in the main area.
- 5. カスタムを選択**: Points to the 'カスタム' (Custom) option in the '議事録スタイル' (Meeting Transcript Style) dropdown.
- 6. Claude 3.7 sonnetを選択**: Points to the 'Claude 3.7 Sonnet' option in the '議事録生成モデル' (Meeting Transcript Generation Model) dropdown.
- 7. プロンプトを入力**: Points to the 'カスタムプロンプト' (Custom Prompt) text area, which contains the example prompt: 'AIエージェントを活用し、店舗業務を効率化できないかについて議論している。議論している内容から、AIエージェントを活用するユースケースについて、5W1Hの形'.
- 8. クリックすると、結果生成**: Points to the '生成' (Generate) button.

The interface also features a 'ビルダーモード' (Builder Mode) toggle, a 'ホーム' (Home) button, and a 'クリア' (Clear) button. The bottom of the page includes the AWS logo and copyright information.

GenU/ダイアグラム生成

ダイアグラム生成

2. Claude 3.7 sonnetを選択

3. アーキテクチャ図を選択

ダイアグラム生成元の文章

モデル
Claude 3.7 Sonnet

図の種類を選択 - アーキテクチャ図



▼ 他の図の種類を見る



以下は店舗業務で使うAIエージェントの利用条件です。これを表現した、システム関連図を作成してください。ノードには、ユーザー、AIエージェント、データ（データベースやファイル、テキスト）、ツールやプロトコル（SQL/MCP、Web API、slack）についても合わせて考えて記載してください。

[When] 毎週月曜日に

[Who] 目黒店の店長Aさんが

[Where] 店舗の裏方のデスクにて

[What] 在庫不足の商品を抽出し、近隣店舗の売上分析を行い、発注処理を行う

[How]

- タスクの開始: 店長はアプリを立ち上げ「現在の商品在庫状況の確認と、近隣店舗の売上分析を行って、発注業務を行って」と依頼する。判断を仰ぐ: エージェントは発注すべき商品と数量、判断した根拠となる情報をまとめて、店長に確認する。
- タスクの終了: 店長に Slack で発注結果を通知する。

必ず日本語を使ってください。

入力例

W

4. プロンプトを入力

例えば、先ほど作成した、AIエージェントの利用条件を入れてみる（次ページ）

クリア

生成

5. クリック

6. 結果表示

生成結果

5

このアーキテクチャ図は、店舗業務におけるAIエージェントを活用した在庫管理・発注プロセスを表現しています。図では、目黒店の店長Aさんがアプリを通じてAIエージェントに指示を出し、AIエージェントが複数のデータソースから情報を収集・分析して発注処理を行うフローを示しています。

主要コンポーネント:

1. ユーザー: 目黒店の店長Aさん
2. AIエージェント: 在庫分析と発注処理を担当
3. データソース: 在庫データベース、売上データベース、近隣店舗データ
4. ツール: 発注システム、Slack通知システム

プロセスフロー:

1. 店長がアプリからAIエージェントに指示
2. AIエージェントが在庫DBから在庫不足商品を抽出
3. 近隣店舗の売上データを分析
4. 発注すべき商品と数量の提案を店長に提示
5. 店長の承認後、発注システムで発注処理
6. 処理完了後、Slackで結果を通知

このアーキテクチャにより、データに基づいた効率的な発注業務が実現されます。

アーキテクチャ図

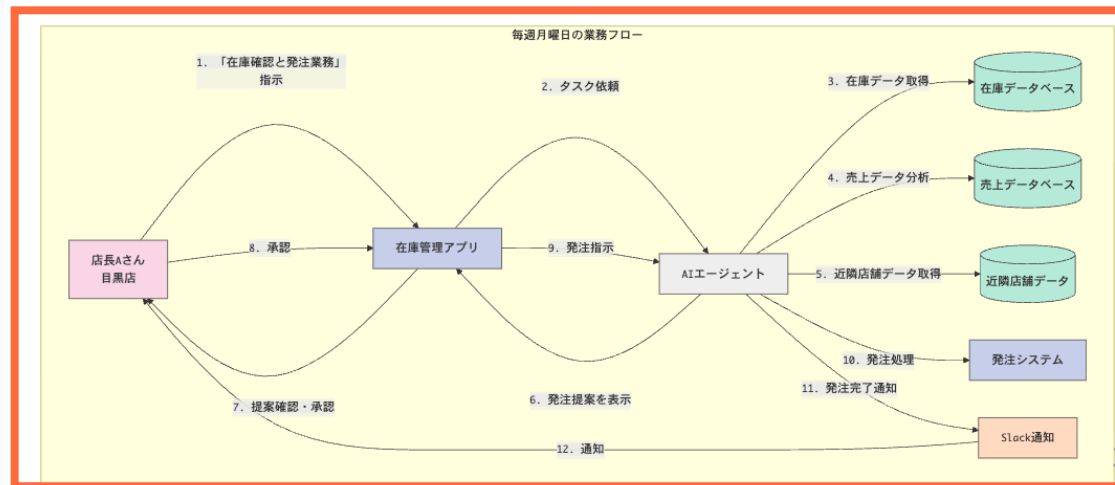
画像でDLできる

SVG

PNG

図を表示

コードを表示



ダイアグラム生成のプロンプト例

以下は店舗業務で使うAIエージェントの利用条件です。

これを表現した、システム関連図を作成してください。ノードには、ユーザー、AIエージェント、データ（データベースやファイル、テキスト）、ツールやプロトコル（SQL/MCP、Web API、slack）についても合わせて考えて記載してください。

[When] 毎週月曜日に

[Who] 目黒店の店長Aさんが

[Where] 店舗の裏方のデスクにて

[What] 在庫不足の商品を抽出し、近隣店舗の売上分析を行い、発注処理を行う

[How]

- タスクの開始：店長はアプリを立ち上げ「現在の商品在庫状況の確認と、近隣店舗の売上分析を行って、発注業務を行って」と依頼する。
- 判断を仰ぐ：エージェントは発注すべき商品と数量、判断した根拠となる情報をまとめて、店長に確認する。
- タスクの終了：店長に Slack で発注結果を通知する。

必ず日本語を使ってください。

GenU/画像生成

ビルダーモード

ユースケース (生成 AI)

ホーム

チャット

音声チャット

文章生成

要約

議事録生成

執筆

翻訳

Web コンテンツ抽出

画像生成

動画生成

ダイアグラム生成

ツール (AI サービス)

会話履歴

画像生成アシスタント

Claude 3.7 Sonnet

ヒント

「かわいい猫の画像を生成して」のような簡単な指示から始めてみましょう。

「水彩画風に」や「リアルに」などスタイルを指定すると効果的です。

「背景に山」や「青空」など

「高解像度」や「細部まで

「アニメ風」や「油絵風」

複雑なシーンの場合は、構

例えば、先ほど作成した、AIエージェントの利用条件を入れてみる（次ページ）

以下は店舗業務で使うAIエージェントの利用条件です。これを活用している店長さんの様子を描く。
[Who] 目黒店の店長Aさんが
[Where] 店舗の裏方のデスクにて
[What] 在庫不足の商品を抽出し、近隣店舗の売上分析を行い、発注処理を行う
[How]
- タスクの開始：店長はアプリを立ち上げ「現在の商品在庫状況の確認と、近隣店舗の売上分析を行って、発注業務を行って」と依頼する。
判断を仰ぐ：エージェントは発注すべき商品と数量、判断した根拠となる情報をまとめて、店長に確認する。
タスクの終了：店長に Slack で発注結果を通知する。

2. Claude 3.7 sonnetを選択

3. プロンプトを入力

1. クリック

4. 画像が生成される



プロンプト

入力してください

ネガティブプロンプト

入力してください

モデル

Nova Canvas

解像度

512 x 512

シード

0

画像サンプル数

3

詳細なパラメータ

生成

クリア

© 2025, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

37

画像生成のプロンプト例

以下は店舗業務で使うAIエージェントの利用条件です。これを活用している店長さんの様子を描く。

[Who] 目黒店の店長Aさんが

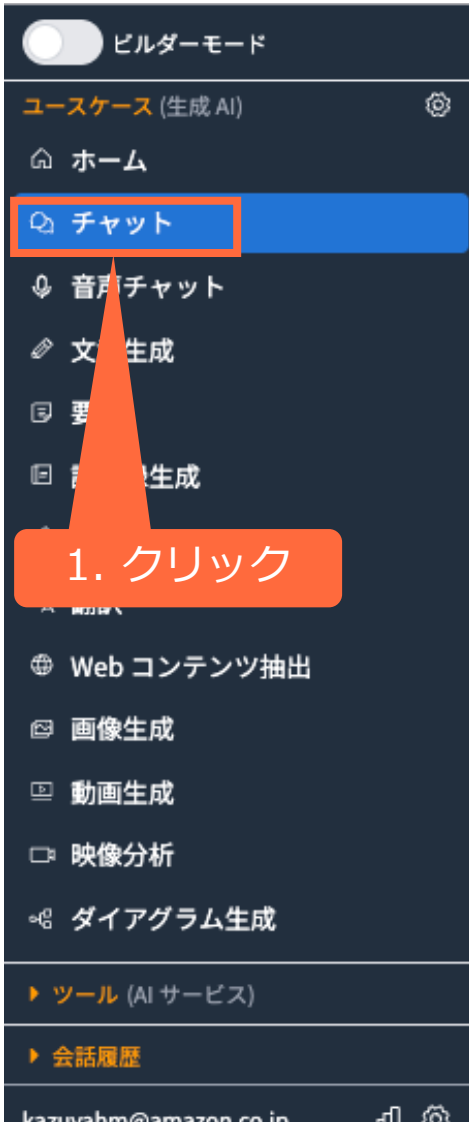
[Where] 店舗の裏方のデスクにて

[What] 在庫不足の商品を抽出し、近隣店舗の売上分析を行い、発注処理を行う

[How]

- タスクの開始：店長はアプリを立ち上げ「現在の商品在庫状況の確認と、近隣店舗の売上分析を行って、発注業務を行って」と依頼する。
- 判断を仰ぐ：エージェントは発注すべき商品と数量、判断した根拠となる情報をまとめて、店長に確認する。
- タスクの終了：店長に Slack で発注結果を通知する。

GenU/チャット



1. クリック

3. プロンプトを入力

例えば、先ほど作成した、
AIエージェントの利用条件
を入れてみる（次ページ）

チャット

2. Claude 3.7 sonnetを選択

Claude 3.7 Sonnet

システムプロンプト

以下は店舗業務で使うAIエージェントの利用条件です。
これを開発するためのシステム要件定義を作成してください。特に画面
UI部分は使用するライブラリなど詳細に。

[When] 毎週月曜日に

[Who] 目黒店の店長Aさんが

[Where] 店舗の裏方のデスクにて

[What] 在庫不足の商品を抽出し、近隣店舗の売上分析を行い、発注処理
を行う

[How]

- タスクの開始：店長はアプリを立ち上げ「現在の商品在庫状況の確認
と、近隣店舗の売上分析を行って、発注業務を行って」と依頼する。



4. クリック

5. 結果が出力される
（次の開発演習にて、
Amazon Q Developer
への入力に使える）

チャットのプロンプト例

以下は店舗業務で使うAIエージェントの利用条件です。
これを開発するためのシステム要件定義を作成してください。特に画面UI部分は使用するライブラリなど詳細に。

[When] 毎週月曜日に

[Who] 目黒店の店長Aさんが

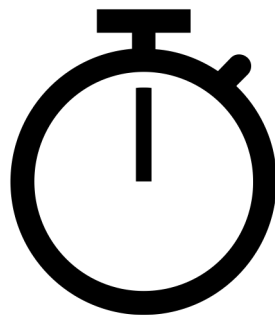
[Where] 店舗の裏方のデスクにて

[What] 在庫不足の商品を抽出し、近隣店舗の売上分析を行い、発注処理を行う

[How]

- タスクの開始：店長はアプリを立ち上げ「現在の商品在庫状況の確認と、近隣店舗の売上分析を行って、発注業務を行って」と依頼する。
- 判断を仰ぐ：エージェントは発注すべき商品と数量、判断した根拠となる情報をまとめて、店長に確認する。
- タスクの終了：店長に Slack で発注結果を通知する。

演習 開始 (25min)



アイデアを出すことが大切です。実現性は今日は気にせず行きましょう！
困ったら、近くのAWSメンバに相談しましょう！

タイムライン目安

橙箇所：大事なポイント

項	やること/アウトプット項目	内容/補足	時間
0	リーダーと、シート記入者の決定	- ファシリテーションはAWSメンバと一緒に - シート記入は、紙でも電子でもOK	1分
1	現場の課題	A さん(誰) が △ をする作業に N 時間かかって困っている	5分
2	AI エージェントの利用条件、ユースケース	- 利用状況の 5 W 1 H - エージェントが担当する作業範囲の開始と終了 (人間との連携ポイントもあれば)	7分
3	データ、ツール	- データ：ファイル・DB 等 - ツール：ファイルIO、SQL、Web API、SaaS 等	3分
4	AIエージェントを中心としたシステム関連図、要件定義	エージェント名 (使ってもらうためネーミング大事!) - フローや図は、GenUも触ってみましょう (時間あれば) 要件定義チャレンジ (開発演習の準備)	7分
5	見どころ、こだわりポイント	わかりやすいアピールすべき点を、一言で	2分

タイムライン目安

橙箇所：大事なポイント

項	やること/アウトプット項目	内容/補足	時間
0	リーダーと、シート記入者の決定	- ファシリテーションはAWSメンバと一緒に - シート記入は、紙でも電子でもOK	1分
1	現場の課題	A さん(誰) が △ をする作業に N 時間かかって困っている	5分
2	AI エージェントの利用条件、ユースケース	- 利用状況の 5 W 1 H - エージェントが担当する作業範囲の開始と終了 (人間との連携ポイントもあれば)	7分
3	データ、ツール	- データ：ファイル・DB 等 - ツール：ファイルIO、SQL、Web API、SaaS 等	3分
4	AIエージェントを中心としたシステム関連図、要件定義	エージェント名 (使ってもらうためネーミング大事!) - フローや図は、GenUも触ってみましょう (時間あれば) 要件定義チャレンジ (開発演習の準備)	7分
5	見どころ、こだわりポイント	わかりやすいアピールすべき点を、一言で	2分

タイムライン目安

橙箇所：大事なポイント

項	やること/アウトプット項目	内容/補足	時間
0	リーダーと、シート記入者の決定	- ファシリテーションはAWSメンバと一緒に - シート記入は、紙でも電子でもOK	1分
1	現場の課題	A さん(誰) が △ をする作業に N 時間かかって困っている	5分
2	AI エージェントの利用条件、ユースケース	- 利用状況の 5 W 1 H - エージェントが担当する作業範囲の開始と終了 (人間との連携ポイントもあれば)	7分
3	データ、ツール	- データ：ファイル・DB 等 - ツール：ファイルIO、SQL、Web API、SaaS 等	3分
4	AIエージェントを中心としたシステム関連図、要件定義	エージェント名 (使ってもらうためネーミング大事!) - フローや図は、GenUも触ってみましょう (時間あれば) 要件定義チャレンジ (開発演習の準備)	7分
5	見どころ、こだわりポイント	わかりやすいアピールすべき点を、一言で	2分

タイムライン目安

橙箇所：大事なポイント

項	やること/アウトプット項目	内容/補足	時間
0	リーダーと、シート記入者の決定	- ファシリテーションはAWSメンバと一緒に - シート記入は、紙でも電子でもOK	1分
1	現場の課題	A さん(誰) が △ をする作業に N 時間かかって困っている	5分
2	AI エージェントの利用条件、ユースケース	- 利用状況の 5 W 1 H - エージェントが担当する作業範囲の開始と終了 (人間との連携ポイントもあれば)	7分
3	データ、ツール	- データ：ファイル・DB 等 - ツール：ファイルIO、SQL、Web API、SaaS 等	3分
4	AIエージェントを中心としたシステム関連図、要件定義	エージェント名（使ってもらうためネーミング大事!） - フローや図は、GenUも触ってみましょう （時間あれば）要件定義チャレンジ（開発演習の準備）	7分
5	見どころ、こだわりポイント	わかりやすいアピールすべき点を、一言で	2分

タイムライン目安

橙箇所：大事なポイント

項	やること/アウトプット項目	内容/補足	時間
0	リーダーと、シート記入者の決定	- ファシリテーションはAWSメンバと一緒に - シート記入は、紙でも電子でもOK	1分
1	現場の課題	A さん(誰) が △ をする作業に N 時間かかって困っている	5分
2	AI エージェントの利用条件、ユースケース	- 利用状況の 5 W 1 H - エージェントが担当する作業範囲の開始と終了 (人間との連携ポイントもあれば)	7分
3	データ、ツール	- データ：ファイル・DB 等 - ツール：ファイルIO、SQL、Web API、SaaS 等	3分
4	AIエージェントを中心としたシステム関連図、要件定義	エージェント名（使ってもらうためネーミング大事!） - フローや図は、GenUも触ってみましょう （時間あれば）要件定義チャレンジ（開発演習の準備）	7分
5	見どころ、こだわりポイント	わかりやすいアピールすべき点を、一言で	2分

タイムライン目安

橙箇所：大事なポイント

項	やること/アウトプット項目	内容/補足	時間
0	リーダーと、シート記入者の決定	- ファシリテーションはAWSメンバと一緒に - シート記入は、紙でも電子でもOK	1分
1	現場の課題	A さん(誰) が △ をする作業に N 時間かかって困っている	5分
2	AI エージェントの利用条件、ユースケース	- 利用状況の 5 W 1 H - エージェントが担当する作業範囲の開始と終了 (人間との連携ポイントもあれば)	7分
3	データ、ツール	- データ：ファイル・DB 等 - ツール：ファイルIO、SQL、Web API、SaaS 等	3分
4	AIエージェントを中心としたシステム関連図、要件定義	エージェント名 (使ってもらうためネーミング大事!) - フローや図は、GenUも触ってみましょう (時間あれば) 要件定義チャレンジ (開発演習の準備)	7分
5	見どころ、こだわりポイント	わかりやすいアピールすべき点を、一言で	2分

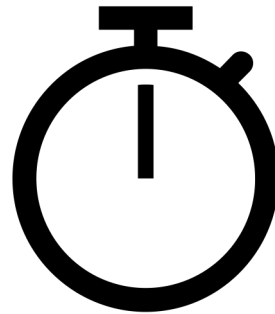
ワーク全体の流れ

- ユースケースの考え方/具体例の紹介、記入シート例の確認 (15 min)
 - ハンズオンで実施したユースケース例のシートを見て、AI エージェントとデータ/ツール (/人間) を連携したフロー図の書き方について理解を深めましょう
- 演習 (25 min)
 - リーダーを決めてください (AWSメンバーと一緒に進めてください)
 - シートを記入する人を決めてください
 - ユースケースを話し合い、1つ決めてください
 - 全て空欄のシートを使って、AI エージェントとデータ/ツール (/人間) を連携したフロー図を書いてみましょう
 - ハンズオンで作ったGenUも使って要件をブラッシュアップし、新たな気づきを得ましょう
- 開発 + 休憩 (15 min)
 - Amazon Q Developerも使って、上記要件に基づいて画面プロトを作成してください
 - グループ発表者も決めてください
- 全体発表 (20min)

Amazon Q Developer で開発を始めよう

- GenUと作成した要件定義を、Amazon Q Developer に入れてみよう
 - 要件定義がまだの場合、GenU または Amazon Q Developer で実施してください
- 壁打ちしながら画面UI のサンプルを作成してみよう
- 見どころ、こだわりポイントを取り入れてみよう
- 発表者を決めよう
 - 画面UIが間に合っていない場合、記入シートの説明だけでも構いません

開発 開始 (15min)



画面プロトタイプの開発を AI と相談しながら進めてみましょう！
コーヒー飲みながら、休憩も適宜とってください。



全体発表 (20min)

- 1 名 2min で発表をお願いします
 - 「AIエージェント名」と「見どころ」から話してください。
- 発表順：挙手性
 - マイクをお渡しします。
- AIエージェント賞の発表者に書籍プレゼント

表彰

AIエージェントの機能・
仕組み（論理的推論能力）と
MCP/A2Aなどのプロトコル

Amazon Bedrock
AgentCoreと、
Strands Agents,
LangGraph など
エージェントフレームワーク

アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社
針原 佳貴

株式会社IVRy
尾原 颯

株式会社ジェネラティブ
エージェント
吉田 真吾

AWS 生成AIアプリ 構築 実践ガイド

生成AIアプリを
手軽に開発できる
「Amazon Bedrock」

世界最高レベルの
大規模言語モデル
「Anthropic Claude 4」

EMBP

LLMの基礎からRAG、 AIエージェントまで AWS直伝の実装法

サンプルのコードとプロンプトをWebで提供

信頼性 | コスト | セキュリティ

実用化のためのベストプラクティスを整理

「基礎をしっかりと理解」と
「ハズオンで実践力が身につく」を両立！



まとめ

AI エージェントを活用するユースケース、適用したい業務フローについて解像度をあげましょう

AI と人間のやり取りのポイントを意識して流れを設計しよう

あとは、Amazon Q Developer (と Kiro) が何とかしてくれます



Thank you!

